

# 一羊会だより

発行  
 社会福祉法人一羊会  
 事務局 〒663-8241  
 西宮市津門大塚町1-47  
 電話 (0798) 31-1760  
 FAX (0798) 31-1763



## 特集

### 「一羊会だより100号までのあゆみ Vol.2」

前回の第1弾に続き今回の第2弾では、1988年（すすかけ作業所が認可されて4年経った頃）以降の記事からご紹介しています。当時の記事や写真を見て懐かしく思う方もいるでしょうし、「昔はこうだったんだな」と感じられる方もいるかと思いますが。是非ご覧下さい。

## その他のページ

- ◆2018一羊会全体研修
- ◆2018一羊会事業計画
- ◆2017決算報告、2018予算
- ◆一羊会後援会のページ 他

## 一羊会だより101号

## 理事長挨拶

理事長 三浦 昇

今年の夏は非常に暑く、さらに大雨や洪水の為に被災された方も多くおられます。早く日常の生活に戻られることをお祈り申し上げます。一羊会では大きな被害はなかったものの古い建物で雨漏りが発生することがあり、修繕についても中々業者の段取りがつかないといった状況でもありました。

さて昨年度は、社会福祉法人制度改革を起点として組織の再編を行い、業務管理体制と財務管理体制の強化に取り組んだ1年でありました。まだまだ改善すべきことはありますが、本来のミッションである福祉の充実に強く取り組まなければなりません。

この4月には障害者総合支援法並びに児童福祉法の一部改正が行われました。本改正では地域生活支援メニューの充実が謳われ、「地域生活支援拠点の整備」の強化や「自立生活援助」、「共生型」の新設など、地域生活を支えるメニューの充実される一方で、報酬単価の改定（改悪？）が行われました。法人経営については厳しくなる一方です。

ここ数年国が打ち出してきた考え方の中で、「地域共生社会」というものがあります。新たな福祉施策のとしての動きです。これは社会福祉法人制度改革にもつながっており、改革の説明として「公益性・非営利性を確保する観点から制度を見直し、国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人の在り方を徹底する。」とあります。そしてその改革メニューの中に「地域における公益的な取り組みを実施する責務」があげられています。

一方で地域共生社会の説明としては

制度・分野ごとの『縦割り』や「支えて」「受けて」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりのくらしと生きがい、地域をともに創っていく社会

となっています。

そして社会福祉法人に対しては地域における公益的な取り組みとして、①生活困窮者への低廉のサービスの実施、②地域共生社会の実現に向けた取り組み、③災害時に備えた地域のコミュニティーづくりなどの例をあげています。

一羊会としてはしょうがいのある方の活動の場所や生活の場づくりを進めてきました。まだまだ足りない状況が続いている中、さらに厳しい課題が投げかけられています。

地域生活が叫ばれる中、現実にはしょうがいのある方の家族の踏ん張りの中で利用者の生活が維持できているという面が多いのが現状です。さらに、介助する家族の方の高齢化が進んでいる実態もあります。西宮という住み慣れた地域で家族の支えがなくなっても一人の大人として生き生きと充実した人生が送れる、そんな地域であって欲しいと願っています。個々の利用者の課題、それを支える地域づくりの課題と担い手である職員の確保がままならない課題、先に控えたすずかけ建て替えの資金作りの課題とまさに四面楚歌の状態ですが、一羊会ができて40年何度となく困った状況に遭遇してきました。これまで積み上げてきた実践力と「何とかなるさ」精神で利用者、家族、地域の方々と手を取り合って前に向かっていきたいと思えます。今後とも一羊会の事をよろしく願います。

## 2018年度 一羊会 全体研修



講演



グループワーク



グループワーク



事業所対抗クイズ大会

### 武庫川すずかけ作業所 長尾 紘奨

2018年4月14日一羊会職員全体研修が勤労会館で行なわれました。今回は、午前中にE-ComWorks株式会社の代表取締役山本衣奈子様による講演、午後からは新人紹介、オフィスうりとむ代表で一羊会の顧問カウンセラーである中村涼子様による講演、グループ話し合い、事業所対抗クイズ合戦というプログラムでした。

午前は「組織をまとめ、協調性を高める ～“伝わる”コミュニケーション術～」と題してご講演いただきました。講義の中で印象に残った事柄を以下に述べます。

- ・ABCを意識する：A当たり前のことを  
B馬鹿にせず  
Cちゃんとやる
- ・コミュニケーション力と行動力は比例する
- ・3つのSについて
  - “straight” 相手が聞き耳を持ってくれるように心根を真っ直ぐに持つ
  - “simple” 表現の幅や言葉の曖昧さに注意し、率直な言葉の言い換えを意識する
  - “smile” 感情は行動でコントロールできない為、行動から感情を作る事が大切である

・「だけど、でも、だって」など否定的な言葉を言わないようにする“Dワード”の話

利用者のコミュニケーション能力やそれに対する支援方法について考える機会は多々ありますが、職員側のコミュニケーションに関わる行動について考える機会はあまりないので、認識・改善する良いきっかけとなりました。円滑なコミュニケーションを基に各事業所が生き活きとした職場になるのではないかと想像しています。午後はメンタルヘルス対策の講義があり、ストレスやそれに対する身体の反応、アンガーマネジメントについて学び、また各自がエゴグラム診断をして自己覚知する良い機会にもなりました。グループ話し合いでは各々が“昨年度頑張ったこと”と普段の利用者の様子を見ていて思わずニヤリとして、ホッとすること“ニヤリホット”をテーマに話し、共感し褒め合う機会となりました。各グループが明るい雰囲気の中で他事業所の職員と会話をし、刺激を受けるいい時間となりました。新人紹介やクイズ合戦では大いに盛り上がり、メリハリのある全体研修となりました。法人全体が今後更に発展していく兆しが見られました。

一羊園だよりと

# 一羊会だより 100号までのあゆみ Vol.2



前号の「一羊会だより 100号までのあゆみ」第1弾はいかがでしたか？今回は第2弾をお送りします。前号では、一羊園ができる以前の記事から始まり、一羊園が開設して、その後すずかけ作業所とすずかけ労働センターが開設したあたりまでの記事をご紹介します。今回はその後の一羊会の歴史を見ていきたいと思ひます。記事を読む上で年表があると流れをつかみやすいかと思うので略年表を載せておきます。

- 1963年 西宮市手をつなぐ親の会（現在の一般社団法人「西宮市手をつなぐ育成会」）発足
- 1976年 社会福祉法人一羊会設立認可 \*「一羊園だより」発行開始
- 1977年 一羊園開設
- 1978年 西宮市立すずかけ共同作業所開設（西宮市手をつなぐ親の会運営）
- 1984年 「すずかけ共同作業所」をすずかけ作業所と改名し一羊会運営の通所授産施設として認可となる
- 1987年 すずかけ労働センター開設（小規模作業所） \*「一羊会だより」発行開始
- 1989年 すずかけ第2作業所開設（小規模作業所として開設、翌年通所授産施設として認可される）
- 1994年 すずかけ第3作業所開設（小規模作業所・浜町）

\*一羊園だより、一羊会だよりでは個人名が出てきますが、当時の原文のままの表記ですので関係の皆様にはご理解、ご了承の程よろしくお願ひ致します。（三浦）  
 \*編集の都合上、数字の表記の仕方などが原文と異なる場合があります。また、今では差別的な表現ととらえられる可能性のある表現もありますが、あえて当時のままの言葉で掲載しています。

## 一羊園だより 第3号(1988年6月)～第23号(1994年12月)

■今回はまず一羊会運営のすずかけ作業所ができて4年経った当時の各作業班の様子を描いた記事から見ていきたいと思ひます。

### 「ミシン班」

ダダッダダッと調子のよいミシンの音。津門の作業所の3Fから聞こえます。女の人6人(指導員も含む)男の人1人。おしゃべり大好きな女性軍を、年令的にも体格的にも(?)お兄さんである中山さんが、リーダーとしてまとめながら作業をすすめてくれます。作業内容は、吸水性抜群のかやふきん、ぞうきん、それに最近はお袋物なども加え、ミシンを使つての縫製とその販売を行っている一それがすずかけのミシン班です。ミシン室をあけると正面にある大きなコンピューターミシン。自動で返し縫い、糸切りまでするすぐれもの。これを足で上手に操作するのが藤井利美さん。エヘヘ!と笑いながらとてもうれしそうにミシンをふむのは山口順子さん。彼女のよこには、次々にでき上つた雑巾が積まれて行きます。壁際の長机で協力しながら原反を折っているのが奥井忍さんと、この4月からすずかけにきた鳥羽敬子さん。二人の呼吸はピッタリ。もちろんミシンの方も、ていねいに一枚一枚縫い上げます。布巾の中ぬいならまかせなさい!というのはいしやゆみさん。コツコツと努力を重ね今生産枚数はミシン班一。そして最後に一番奥でカラフルな糸が5本もついているロックミシンにすわっているのが中山薫さん。いろいろなことを考へて職員に提案してくれるアイディアマンでもあります。そして、今、毎日の積み重ねがこんなにすばらしい技術となりました。その技術が花開くのは、やはり皆の生産量に合った販路が確保された時。一步一步努力を重ねてこんなに上手になつたみんなにまけないよう、今度は私がかんばる番だと思ひています。またみんなの力がもっともっと発揮できるように新しいことにも挑戦!いつも前向きなミシン班でありたいです。これからもどうぞよろしくおねがひします!!

第3号(1988年6月27日)

### 「クッキー班」

「こんにちは!まごころクッキーいかがかな?」

指導員 永峰 千鶴

労働センター、ベーカリー部の誕生と同時に、私達のクッキー班は生まれました。ほとんどが今春、通所更生施設「いずみ園」を卒園してきたメンバー、かく言う私も大学出たてのホヤホヤ…。今だに作業所中に新風を吹き込み続けている。元気いっぱい班です。ところで、わが作業所のお菓子、どんなものがあるか、ご存じでしょうか。これから、クッキー班の仲間を紹介しながら、ごく一部のお菓子の説明をしたいと思ひます。「クッキー班の先輩の、西村猛くんです。」と、いつも自己紹介してくれる彼は、☆クッキー生地を円柱状に丸めるのも、それを包丁で切るのも大得意。先日の一羊園の運動会では運動神経の良さを思いっきり発揮しました。「尚ちゃん、黙つてよーやつてるネ」「ハイ」という会話がいつも交わされる西本

尚美さんは、☆ビスケットの型抜きがとても上手。星、ハートに加え、とても難しい人形の型まで、抜けるようになってきました。

「泰っちゃん、もっと伸ばして」と声をかけると、めん棒サツと持ち、体重をかけて、また生地を伸ばす。とても器用な西林泰子さんは、難しい☆ドイツクッキーの生地でも、☆動物ビスケットの型でも、チョコイでやってのけてしまいます。「康くん、丸めるの、うまくなつたネエ。」と感嘆するほど、☆アメリカンクッキーの生地10gをお団子に丸めるのが上手。黒田康弘さんは、将来に向け、ベーカリー部で元気に実習中です。「憲江ちゃん、☆マドレーヌする人。」と、手をあげる宿間谷憲江さんは必ず、マドレーヌ作りをかって出ます。手順はもちろん、はかりの使い方も最近覚えてきました。「先生、頑張つてますよ!」と、アピールしてくれる安岡純子さんは、コツコツ落ちて仕事をするのが好き。クッキー類の袋とじ(アルタイ)を1つずつ丁寧に、しっかりやってくれます。「先生、これでええ?」「どう思うの?」「これでええと思う」と答へる田中和子さんは、とてもきっちり、ユーロクックからの仕事の、製菓材料の計量をします。欠勤なしの頑張り屋さんです。そしてけたたましく鳴るオーブンのようになるのが私です。とにかく皆様に「おいしい」と言つて食べて頂けるよう、心をこめて作つていきたいと思ひています。「これからも、よろしくおねがひします!」

第4号(1988年11月29日)



(クッキー作業)

■いよいよ1989年にすずかけ第2作業所がオープンしました。

すずかけ第2作業所は、今年の4月10日から、旧名神あけぼの園跡を利用し、所員16名、職員3名でスタートしました。同じ建物の中にはすずかけ労働センターがあり、津門大塚町にはすずかけ作業所が控えており、船坂の高台からは一羊園が静かに見守つてくれています。そういう暖かい恵まれた環境の中で、すずかけ第2作業所は誕生し、これからの成長を目指していきます。本当に、「はじめまして!よろしゅうおねがひします」のすずかけ第2作業所です。

第6号(1989年6月20日)

■当時のすずかけ第2作業所のメンバー紹介の記事がありました。

「新しいなかまの紹介」 (訓練部から)

○井上治久さん…土と輪ゴムと男の先生が大好き、ほおずりされるのが大好き、好きなものがいっぱいある甘えんぼうさんです。

○三木理一郎さん…漫才大好き、本物の大阪弁でいろんな話をしてくれます。

○谷智子さん…訓練部一のハッスル少女！外の仕事が好きで、まっ黒土だらけの健康美人です。

○長田千恵さん…すごく臆病なのに興味津々、そろっと近づいてじーっと見えています。何が見えるかな？

○松岡優子さん…歌劇大大大好きっ子、月に一度は見に行ってます。その影響かな？とってもオシャレなんです。

○渡辺則子さん…「はーい」とかわいいやさしい声で答えてくれると、みんなうれしくなります。

○山口礼子さん…みんなが大好き、ふわふわとやって来て、ニコニコと笑ってくれます。

○品川信子さん…ブランコ大好きっ子元気いっぱい体を中で表わしています。

○井上あゆみさん・中城敏香さん…「今日は私は公園ね」「じゃあ私はカバンセットするね」、内向きのIと外向きのN、全く対照的だけど声の大きさ明るさは似てるかな？お互いがお互いの弱点をカバーし良い所を引き出し、今は二人で一人分の力もないけど、そのうち二人で二人分、みんなの力が加わって100%の力をだしましょう。



(ベーカリー部から)

○田中和子さん…とっても思いやりのあるやさしい人、いろんな夢も語ってくれます。

○太田千香さん…朝一番にするのが仕事の段取り、お昼に会うころには、服にも顔にも小麦粉がべったり。毎日悪戦苦闘しながらクッキーを焼いています。時には“まっ黒クッキー出き上がり”になるけど、みんなにはげまされながらチャレンジ、チャレンジ!!

(清掃事業部から)

○塩谷健介さん…清掃事業部に来る為に生まれた人、とみんなに言われ、炎天下の中みんなと一緒に作業をしているのに何故か彼の黒さが目立ちます。持ち前の「なんとかなるさ」精神と、その裏にある頑張りで毎日みんなと共に公園へ向っています。

第10号 (1990年8月2日)

さて、すずかけの布巾の記事です。「きょうされん」布巾はこの時にコープこうべの共同購入にいらしてもらったのですね。

「すずかけ作業所製造の『きょうされんふきん』が

コープこうべの共同購入に！」

このたび、かやふきんがコープこうべの共同購入カタログ「めーむ」に福祉製品として掲載されることになりました。これまで保護者会、親の会など身近な方にのみ知られていたかやふきんが、婦人会、老人会、地区民協の方々の御協力でたくさんの方に知って頂くことができました。そして今回「めーむ」にのることにより、すずかけを支えてくださる方々の輪がさらにひろがることは、大きな喜びです。第1回目の掲載は12月24日～28日。注文に備えてたくさん製品をぬいます。共同購入をされている方は、次の御注文は「めーむ」を通じて。もちろん従来どおり作業所にての販売もしておりますので、引き続きご愛用下さい。

第15号 (1991年12月9日)

■さて、ここで当時の行事やレクリエーションをまとめてご紹介します。まず大きな行事として「すずかけ大運動会」。そして夏はキャンプ。バン車にテントやはんごうなどを積み込んで出かけました。秋は一泊旅行。東京や沖縄まで行くこともありました。年が明けると新年会。以前はほぼ全員の利用者・職員が参加していました。

「第2回すずかけ大運動会」

10月8日土曜日。今年も市立中央体育館をお借りして、すずかけ大運動会が行なわれました。昨年、社会体育課の方より、「中央体育館が丸一日、あいてる日があるんですが、運動会でもされませんか？」と声をかけて頂き、初めて、すずかけだけの運動会を行いました。急だったこともあり、あまり準備もできなかったのですが、予想以上に大好評。ぜひ来年も！という熱い(?)要望にお応えして、第2回開催となりました。(中略)



(すずかけ大運動会)

(そして当日) すすかけの人はもちろん、労働センターのみんなに、お母さん方、前所長の杉本先生をはじめ、旧職員の方々、いずみ園の先生、様々なかたちでお世話になっているボランティアの方々、準備から、大変お世話になり、当日も参加して下さった社会体育課の皆さん、進行のお手伝いをして下さった関学のボランティアグループ「しゃぼん玉」の皆さん、みんな、合わせると約130人というたくさんの方が参加して下さいました。さて、競技の方は?という珍プレー、好プレーの続出。でも勝敗よりも、みんなで走って、なつかしい先生とうれしそうに話す所員の人達がいっぱい。とっても気分がホンワカした1日。

第4号(1988年11月29日発行)

「'92すすかけキャンプあれこれ」

指導員 武内 千佳子

今年も、9月3日～5日、夏のキャンプを、行いました。今年も2つのグループに分かれ、兵庫県市島町にある『エルム市島』という出来立てホヤホヤのキャンプ場と養父町にある『石ヶ堂古代村キャンプ場』に行きました。(古代村キャンプ場では、なんと!! テントではなくわらぶきの堅穴式住居で寝たのです) すすかけ作業所のキャンプでは、帰って来てから職員とボランティアさんとで「ご苦労さん会」をしています。今年も2ヶ所に分かれたのでお互いに話したいこと、聞きたいことがいっぱい。一人一人がキャンプ中に起きたエピソードを披露することになりました。

第18号(1992年11月20日)



(キャンプ)

「すすかけ合同新年会」 栗林 和徳

去る1月29日(土)に恒例になった「すすかけ合同新年会」が催されました。今年も宝塚グランドホテルにお世話になり、みんなも賑やかながら落ち着いた様子で楽しむことができました。4回目を数える今回は総勢161名の参加となり、普段は違う仕事をしている人と同じ卓を囲みながらゆっくりと過ごせる良い機会です。ステージにあがり、それぞれの仕事のグループ毎に新年の抱負を大きな声で語り、全員がステージに立ちました。各グループでリーダー的存在(マイクがあるとつい喋ってしまう人)

の人は、ほとんど変わりのない顔ぶれで、健在ぶりを発揮しているのには、ついつい拍手も大きくなっていきます。各グループの新年の抱負がひとつおちつきと、おまちかねのカラオケタイムとなり、われ先にとかけよる姿もほとんど変わりのない顔ぶれです。

第21号(1994年6月6日)

■1994年に「むこすず」の前身であるすすかけの第3作業所ができました。

「すすかけ第3作業所のページ」 吉見 京樹

はじめましてすすかけ第3作業所です。このたび西宮市浜町9-20(白鹿記念博物館西)に新しくすすかけの仲間が増えました。所員5名、職員2名の小規模作業所ですが、平成8年度に市が武庫川町に建設予定の50名規模の通所授産施設にむけてのあしがかりとして、それまでのあいの仮設の施設です。作業内容は新しく陶芸作業が出来るように電気窯を設置し、それを中心に今まですすかけが取り組んできた作業も取り入れながらやっていくつもりです。とはいえ焼き物といっても職員も手さぐり状態ですし、仲間もまだ地に足がついていませんのでポチポチ無理せずやっていきます。幸い自治会を始め多くの皆様の応援をうけてスタートできたことは大変嬉しくおもいます。

第21号(1994年6月6日)

■ここで、今ではなくなっているものもありますが、当時のお祭りの記事をいくつかご紹介します。

船坂風の宴

後援会の支援行事でもあり、施設機能推進事業の一つでもある“船坂風の宴”がひらかれました。6種類の店をめぐる、お腹も落ち着けば、地元山口中学校のブラズバンドの演奏、これはもう恒例となっています。中学の時、何度か一羊園を訪れて下されば、何か感じて下さるのではと思います。今回のもう一人のゲストは能管という横笛を演奏して下さいましたS氏です。一羊園のグランドに笛の音が一杯にひびきました。すすかけの人達もたくさんきていただき、グランドが人で一杯になりました。

第22号(1994年10月24日)

一羊園夏祭り

少しおそめでしたが、特に暑かった夏のしめくりとして、9月3日に行いました。今回は復古調で本来の夏祭りらしく、ユカタを着てヤグラを組み、提灯をつり、すっかり盆踊りしました。お店は9店と盛りだくさん、サッカーやバスケットをゲームにし賞品が当たるようにしました。近所の子供達に人気が集まりました。Hさんのライブ、盆踊り、太鼓の打ち手と、踊りに気合が入りました。地元の方々の参加もふえてきて定着しつつあるようにおもいます。

第22号(1994年10月24日)

## 西宮市民祭り

8月27日 西宮球場で西宮市民祭りがあり、出店と見学で参加しました。たいへん暑い日でしたが、8万人と過去最大の人達が参加する大きな祭りとなりました。障害を持つ人の参加も多く、気軽に楽しめるものとなりました。一羊園では衣服、バザー用品、和紙など売りました。

第22号 (1994年10月24日)

## 「第4回すずかけこいこいまつり」

実行委員長 大元 裕司

11月12・13日の2日間、第4回すずかけこいこいまつりが行われました。今年は例年通りすずかけ作業所、すずかけ第2作業所、すずかけ労働センター、生活支援センターの4施設とさらに今年5月に開所したすずかけ第3作業所を加えた5施設でこいこいまつりをつくってきました。又会場も以前とは異なり、3会場を使ってきました。すずかけ第2作業所、すずかけ労働センターをメイン会場として、保護者による出店、所員のみんなによる出店、又ステージを設け、音楽クラブによる演奏、ボランティアのバンド演奏、バード音楽学院、Aさんによるキーボード弾き語り等、多彩なイベントが行われました。すずかけ作業所では所員の絵画展示に喫茶店をアレンジした画廊喫茶をし、すずかけ第3作業所では、人形劇団“玉手箱”さんを招き、楽しい人形劇を演じてもらいました。いずれの会場も活気があり、盛り上がりしました。(中略) 最後になりましたがこのおまつりには地域の人々に来ていただいて、すずかけをそして障害を持っている人達をより知ってもらおうと言う主旨がありました。私達の住む身近な地域の中に障害を持った人達の働く作業所があり、その中で精一杯がんばっているのだと感じ、少しでも所員のみんなにとって、また地域の人達にとって良い関係が生まれてきてほしいと思っています。すずかけでは年間に色々な行事を行っていますし日々様々な仕事をしていますので、いつでも遊びに来て下さい。

第22号 (1994年12月22日)



(こいこいまつり)

さて、今も続いているすずかけ労働センターのリサイクル自転車についての記事です。

## 「新たなスタート。ふれあいサイクル事業」

所長 高木 博敏

労働センター発足時からの看板であるふれあいサイクル事業は今年で8年目です。市内の駅前放置自転車のうち引き取り手のない自転車で、再生可能な物だけで贓品照会をした後無償譲渡していただき、県自転車商組合西宮支部の皆さんの技術指導のもとで再生し、完成車は「ふれあいサイクル」と名づけ、同支部の店頭で安全点検と防犯登録を済ませて、市民の皆さんに販売してきました。今年の8月、国の自転車法改正に伴い、放置自転車の売却が自治体に認められ、一般業者の、競争入札制の導入の可能性を含めて、ふれあい事業は存続の危機に面しました。しかしこれまで行政と施設と自転車組合の三者で積み重ねてきた実績と障害者の仕事を守る意義をふまえて担当の土木局安全対策課と障害福祉課の御尽力のおかげで、随意契約を結ぶことができ再スタートとなりました。新方式は、ひと月に約600台を安全対策課で取得台帳から管轄の警察署に所有者照会をしていただき、盗難車でないものを、契約単価で全部買い取ります。もちろん全部再生可能ではありませんので半分位は破砕処分になります。費用はかかりますがこれまでは年間1000台の譲渡数が、上限でしたので、一定した作業量は確保できず完成台数も500～600台でしたが、今は毎日途切れることなく作業量は供給でき、10人前後の従業員が再生作業に携わることができるようになりました。月産200台が目標です。毎日作業を継続することによって、作業体制は安定し、再生技術がどんどん上達しています。前後タイヤ・チューブをはじめ、各 부품の交換・簡単なスプレー塗装までできるようになりました。内職作業とちがいで、種々の工具、ボルト・ナット、を使い、部品の色や形、方向や角度寸法に知恵を絞って、力を出して、完成品を追求し、達成感を味わうことができます。製品は人気商品ですので、どんどん現金にかわっていきます。製造業から商業までを体感していくことが、彼らの労働意欲を高め、社会性を身につけていきます。今日も彼らはよりよい製品に仕上げるべく再生作業にとりくんでいます。今後も、この貴重な「ふれあいサイクル」を通して、ちえおくれの青年達の労働と生活を守っていく運動に、地域の皆さんの方の御理解と御協力をお願いいたします。

第23号 (1994年12月22日)

## ■編集後記

当時のレクや行事をまとめて色々思い出しました。新年会では一時期私が余興のコーナーを毎年ネタを変えて受け持っていて、「世界でひとつだけの花」をオリジナルの振り付けでみんなで踊る企画。利用者職員含め回答者は着ぐるみ着て答えるクイズ大会。神社会館でやった書初め大会。これはバケツに溜めた墨汁に超大筆に見立てたモップをからめ、特大の模造紙に「謹賀新年」と墨を飛ばしながら利用者に描いてもらう企画。何とこれは神社会館2階の大広間でしました。というわけでこの「一羊会だよりの歴史」第3弾を乞うご期待！(久保)



内部要因としての組織体制の強化やガバナンス・けん制機能を強化し、外部要因としての国の財政の圧迫により事業収入への影響や福祉サービス事業所の乱立による人材難等、課題山積の状況です。一羊会として以下の計画を策定し、課題解決に向けて取り組むと共に、地域ニーズへ取り組んでいきます。

### ○組織管理

組織の管理体制をシンプルにスリム化し、ガバナンス、けん制機能を強化し、透明性の高い法人経営を進めていきます。それをチェックする監事の体制については新たに監事会を結成し、計画的な監査を進めていきます。理事が事業の役職を兼務していましたが、けん制機能強化の為、兼務解消の体制で臨みます。具体的には理事となった部長は理事会の代表として事業運営を管理していくことになります。日々の運営は部長が執行していくことになり、理事会と事業の牽制体制を強化します。

次世代の経営者育成の為、部長と課長の権限の整理を行いました。法人全体に関わる業務や会議は部長会議の統括とし、各事業所の運営や支援に直結する会議については課長会議の統括として進めていきます。次の世代を担う経営者の育成に努めます。

2017年度の総括の中で、全体的に会議の数が増え、業務過多となっているという課題があったので、会議の整理・統合など再編も行っています。

### ○財務管理

すずかけ作業所移転建替工事の着工を予定しています。5億円規模の大きな工事であり、予定の自己資金は確保していますが、補助金が未確定のため、その動向を見ながらの資金運用が必要となります。北部事業展開や各事業所の修繕、職員の処遇改善等、全体の事業展開にも十分に資金を確保し、安定した運営ができるように、借入金設定や積立金計画、適正な支出

等、法人全体の資金管理に取り組んでいきます。また、2018年度の報酬改定案が示され、障害福祉サービス等報酬改定の改定率が+0.47%となったものの、新サービスの新設、医療的な加算の新設・増額などがあり、法人の実施している事業の多くは減となっています。各課長のさらなる事業運営の能力の向上と本部での会計コントロールを進めていきます。

また、2017年度より引き続き、財務規律強化に向けて、内部統制や業務プロセス統制等の管理体制システムの強化に取り組めます。公認会計士等外部の専門家も継続して活用し、指摘・指導を受けた事項に対する改善を進めていきます。

### ○人材確保

2018年度の柱として、計画的な採用活動、ホームページの活用、インターンシップ事業の強化としています。1年を通じての計画的な採用媒体による採用活動を実施します。人材派遣や人材紹介の会社とは、日々の連絡を通して、求職者とのマッチングを進めていきます。

就職説明会を月2回程度のペースで活発に開催するとともに、個別に学校を訪問し、採用に向けてのつながりを強化していきます。さらにリニューアルしたホームページで充実させた採用ページやインターンシップ事業のページにより人材確保を進めていきます。

働く人の意識の変化に合せ、処遇の改善も検討していきます。働いてみたい職場、働き続けたい職場づくりを目指します。

### ○広報活動

ホームページについては、リニューアルしました。定期的に更新するページと自主製品やあとリエ活動など、自分たちで随時情報を発信できるページ等があります。様々な活動の情報を発信していき、更新を楽しみにしてもらえるものを目標に、法人への理解を深めてもらおうと共に、「魅力発信基地」となることで人材確保にもつながるように進めていきます。

一羊会だよりも100号を超えました。一羊園だよりと一羊会だよりの歴史を振り返る特集を100号から引き続き数回に分けて、発行していきます。

### ○サービス管理

各事業所の利用者支援の質の向上及び支援力の向上に向けて、支援員がその力量を発揮できる環境作りをするために以下のことを実施します。

- 就労継続支援A型は上甲子園すずかけ作業所からすずかけ労働センターに移管します。就労継続支援B型もA型と同様、行政に対して「優先発注」の維持・拡大の要望を行ない、作業確保と工賃の確保・上昇を目指します。また、法人内で歴史と実績のある製菓作業と縫製作業については、商品開発をしていく検討会の設定や営業職の設置を検討するとともに、これらの作業に適性のある利用者を広く募り特色のある就労支援をしていきます。
- 生活支援では特に高齢化対策について法人全体が取り組んでおり、高齢化アセスメントの実施や嚙下の機能低下に伴う食事の形態の研究をしています。2018年度はこれらの取り組みをさらに進めるとともに、介護保険分野と医療分野との連携を強化し、特別養護老人ホームなどの施設見学・実習を通して、知識と手法の習得に努めます。また、看護師・OT・PT・STなどの専門職の配置も法人内での機能・役割を明確化して本格的に検討します。
- 障害特性に応じた支援については、引き続き外部よりスーパーバイザーを招き、専門性の高いコンサルテーションを継続します。また、サービス向上部会では各事業所のサービス管理責任者等が支援の質の向上のための横断的な取り組みを引き続き進め、それを現場に伝えます。現場ではサービス管理責任者を中心とした支援会議で支援の方向性を決めていきます。
- 2017年度、5つあった部会はその機能を整理した結果、以下の2つの部会を継続します。

#### (サービス向上部会)

「法人外の事業所との支援の連携」「高齢化等による利用者の状態変化」「意思決定支援」などの利用者支援に関するテーマを取り上げ、事例研究やグループワーク等の手法を用いて、サービス管理責任者が幅広い支援の視点と支援技術を獲得する機会を提供します。サービス管理責任者はその成果を現場に返すことで、各事業所はより質の高い支援を実施できるようになります。

#### (リスクマネジメント部会)

事故防止の啓発やマニュアル整備を継続します。また事故要因を分析して現場にフィードバックします。特に自動車事故の防止には重点を置き、安全運転対策強化します。権利擁護については、例年実施の行動規範の実施から職員の意識向上を図ります。特に虐待防止の意識向上には力を入れ、アンガーマネジメントの手法を取り入れます。

※廃部になった3つの部会（就労支援部会・生活支援部会・人材育成部会）の機能役割については、課長会議で各検討会を設置し管理します。検討会には現場職員も参加することにより、情報共有を兼ねながら現場の意見や発想を法人に生かせるシステムを作ります。

### ○危機管理

各事業所の実情を再確認し、南海地震や火災事故等に備え、各事業所の実情に応じた避難訓練を行います。また利用者や職員の安全を図るために、各事業所のセキュリティ対策を引き続き検証していきます。

### ○事業展開

事業展開については、北部、南部においてニーズの高いグループホームづくりに取り組んでいきます。資金面では自己資金の不足、人事面では人材不足という課題についてその解消に努めながら取り組んでいきます。

### ○アート活動の推進

一人ひとりがその人らしい表現の仕方でアート作品などを製作できる場を提供します。昨今アールブリュット・しょうがい者アートに向ける社会の注目は高まっている中、そのブームに乗りながらも利用者の主体性やペースを大事にしていきます。また、作品の著作権の規定を作成し、利用者の作品の権利の擁護にも力を入れていきます。

### ○地域連携

地域との連携については実践発表会や地域へのイベント参加等を通して進めていきます。自立支援協議会や各福祉団体への協力についても引き続き取り組んでいきます。

2017年度 法人単位資金収支計算書

自 2017年4月1日 至 2018年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	127,982,279	130,492,969	-2,510,690	
	障害福祉サービス等事業収入	1,239,438,500	1,242,998,650	-3,560,150	
	経常経費寄附金収入	24,109,410	24,117,943	-8,533	
	受取利息配当金収入	26,758	36,079	-9,321	
	その他の収入	20,263,551	20,331,153	-67,602	
	事業活動収入計(1)	1,411,820,498	1,417,976,794	-6,156,296	
	支出				
	人件費支出	894,117,577	894,934,967	-817,390	
	事業費支出	135,973,284	135,147,947	825,337	
事務費支出	149,093,115	147,454,507	1,638,608		
就労支援事業支出	133,749,132	135,695,652	-1,946,520		
支払利息支出	150,219	150,219	0		
その他の支出	9,049,200	9,363,935	-314,735		
事業活動支出計(2)	1,322,132,527	1,322,747,227	-614,700		
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	89,687,971	95,229,567	-5,541,596		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	4,879,000	4,879,000	0	
	施設整備等寄附金収入	170,000	170,000	0	
	固定資産売却収入	60,409,947	60,419,947	-10,000	
	施設整備等収入計(4)	65,458,947	65,468,947	-10,000	
支出					
設備資金借入金元金償還支出	2,052,000	2,052,000	0		
固定資産取得支出	24,169,672	24,835,652	-665,980		
固定資産除却・廃棄支出	3,650,000	3,651,692	-1,692		
施設整備等支出計(5)	29,871,672	30,539,344	-667,672		
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	35,587,275	34,929,603	657,672		
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動による収入	8,284,435	11,766,860	-3,482,425	
	その他の活動収入計(7)	8,284,435	11,766,860	-3,482,425	
	支出				
	積立資産支出	37,961,000	40,759,597	-2,798,597	
	退職給付引当資産支出	11,281,000	11,259,597	21,403	
	施設整備等積立資産積立支出	19,500,000	21,500,000	-2,000,000	
	修繕費積立資産積立支出	3,000,000	3,000,000	0	
	人件費積立資産積立支出	4,000,000	4,000,000	0	
	工賃変動積立資産積立支出	0	700,000	-700,000	
設備等整備積立資産積立支出	180,000	300,000	-120,000		
その他の活動による支出	2,384,720	2,489,720	-105,000		
その他の活動支出計(8)	40,345,720	43,249,317	-2,903,597		
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	-32,061,285	-31,482,457	-578,828		
予備費支出(10)	0	0	0		
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	93,213,961	98,676,713	-5,462,752		
前期末支払資金残高(12)	407,857,691	407,857,691	0		
当期末支払資金残高(11) + (12)	501,071,652	506,534,404	-5,462,752		

2017年度 法人単位事業活動計算書

自 2017年4月1日 至 2018年3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	130,492,969	132,936,258	-2,443,289
	障害福祉サービス等事業収益	1,242,998,650	1,233,739,028	9,259,622
	経常経費寄附金収益	24,117,943	10,643,132	13,474,811
	サービス活動収益計(1)	1,397,609,562	1,377,318,418	20,291,144
	費用			
	人件費	892,831,287	899,378,989	-6,547,702
	事業費	135,316,427	126,281,072	9,035,355
	事務費	147,454,507	143,904,787	3,549,720
	就労支援事業費用	136,955,132	137,154,744	-199,612
減価償却費	67,677,405	67,952,577	-275,172	
国庫補助金等特別積立金取崩額	-33,760,052	-36,446,407	2,686,355	
サービス活動費用計(2)	1,346,474,706	1,338,225,762	8,248,944	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	51,134,856	39,092,656	12,042,200	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	36,079	52,655	-16,576
	その他のサービス活動外収益	24,522,457	20,669,331	3,853,126
	サービス活動外収益計(4)	24,558,536	20,721,986	3,836,550
	費用			
支払利息	150,219	164,583	-14,364	
その他のサービス活動外費用	10,820,893	10,173,252	647,641	
サービス活動外費用計(5)	10,971,112	10,337,835	633,277	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	13,587,424	10,384,151	3,203,273	
経常増減差額(7) = (3) + (6)	64,722,280	49,476,807	15,245,473	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	4,879,000	4,333,900	545,100
	施設整備等寄附金収益	170,000	100,000	70,000
	固定資産受贈額	0	3,165,440	-3,165,440
	固定資産売却益	9,999	946,107	-936,108
	その他の特別収益	0	42,191,149	-42,191,149
	特別収益計(8)	5,058,999	50,736,596	-45,677,597
	費用			
	固定資産売却損・処分損	93,189,665	2,490,006	90,699,659
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	-5	5
国庫補助金等特別積立金積立額	4,149,002	4,568,173	-419,171	
特別費用計(9)	97,338,667	7,058,174	90,280,493	
特別増減差額(10) = (8) - (9)	-92,279,668	43,678,422	-135,958,090	
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	-27,557,388	93,155,229	-120,712,617	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	1,085,770,602	1,054,415,373	31,355,229
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	1,058,213,214	1,147,570,602	-89,357,388
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	29,500,000	61,800,000	-32,300,000
	次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	1,028,713,214	1,085,770,602	-57,057,388

法人単位貸借対照表

2018年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表表. Columns: 科目, 当年度末, 前年度末, 増減, 科目, 当年度末, 前年度末, 増減. Rows include 流動資産, 固定資産, 負債, 純資産.

2018年度 資金収支予算書

(自) 2018年4月1日 (至) 2019年3月31日

(単位：円)

資金収支予算書表. Columns: 勘定科目, 2018年度予算額, 2017年度予算額, 増減額, 備考. Rows include 事業活動による収支, 施設整備等による収支, その他の活動による収支.



## 一羊会後援会のページ

### ご挨拶

一羊会後援会会長 太田 博

いつも一羊会後援会の活動にご支援いただき誠にありがとうございます。

昨年度は通常の活動とは別に使途不明金問題の解決に向けての動きであわただしい一年を過ごしました。

会員の皆様にはこの間、ご叱責は言うまでもなく、励ましの言葉もたくさんいただき支えられました。又、会費、寄付金についても大きく減少することなく例年通りの収入報告をさせていただけることは感謝に堪えません。

使途不明金問題については、会計事務所に委託し会計調査を行い、臨時総会、定時総会を経て弁護士に訴訟等法的手続きを委任し、本人不在のまま昨年11月27日に勝訴致しました。

一羊会及び他団体との調停も済み、去る6月22日に開催された一羊会後援会総会で回収額も含めた決算報告等諸議案の承認をいただき、使途不明金に係る事案については概ね終息致しましたことをご報告いたします。引き続き残る案件について解決に向けて動いてまいります。

今後は気持ちを切り替えて、一羊会事業の推進にこれまで通り寄与してまいります。

会員の皆様におかれましては、一羊会設立の理念、当後援会の目的をご理解いただき、一羊会事業の推進に引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

### <2017年度事業報告概要>

管理体制については複数体制で業務を行い、監事監査については中間監査も入れ年2回実施致しました。

又、例年通りカレンダー販売事業、輪イ和イひろばのイベントでの販売活動に取り組みました。

2018年1月9日から11日迄の3日間、西宮神社十日戎での街頭募金活動についても例年通り実施致しました。

### <2018年度役員体制について>

2018年度は、吉野監事が退任され、新たに中谷監事に就任いただくことになり下記の役員体制について総会で承認をいただきました。この体制で後援会活動の安定化を目指していきます。

吉野監事にはこの間ご協力いただき深く感謝申し上げます。

### 2018年度後援会役員一覧

(任期：2018年6月22日～2019年 総会開催時迄)

役職名	氏名	現在の役職等
会長	太田 博	関西技術コンサルタント代表取締役
副会長	近藤真由美	西宮市手をつなぐ育成会会長
副会長	三浦 昇	一羊会 理事長
理事	本田 洋子	西宮市手をつなぐ育成会副会長
理事	北本 宝	西宮青年会議所 直前理事長
監事	長谷 隆行	公認会計士
(新)監事	中谷美津子	西宮市手をつなぐ育成会副会長

### <2018年度事業計画概要>

引き続き管理体制の整備に取り組み透明性のある体制づくりに努めます。

会員の維持拡大に努めると共に、近々に予定されている「すずかけ作業所」の移転建替え工事を始め、北部での一羊会事業の展開を支援する為に、西宮十日戎での募金活動を継続し、カレンダー販売にも取り組みます。

今回の経験を教訓として、二度と過ちを犯さないよう危機管理意識をしっかりとって再構築を計ってまいります。



一羊会後援会総会 (6/22) の様子 市民会館にて

## 2017年度収支決算

## 貸借対照表

単位：円

借方		貸方		
科目	金額	科目	金額	
普通預金 三井住友銀行	3,394,313	未払金	委託料	1,986,000
普通預金 ゆうちょ銀行	472,381		寄付金	3,000,000
ゆうちょ銀行 振替口座	1,565,604			
現金	2,266			
未収金	861,838	当期繰越金		1,310,402
資産合計	6,296,402	負債・純財産合計		6,296,402

## 収支計算書

自2017年4月1日 至2018年3月31日

## 収入の部

単位：円

科目	予算	決算	増減	内訳
会費寄付金収入	2,000,000	2,296,920	296,920	
会費	1,000,000	1,005,000	5,000	
寄付金	1,000,000	1,291,920	291,920	
事業収入	700,000	684,014	△15,986	
募金事業	300,000	324,254	24,254	十日戎募金
販売事業	400,000	359,760	△40,240	カレンダー 販売他
雑収入	100	2	△98	
使途不明金回収収入	6,485,530	3,469,762	△3,015,768	
前年度繰越金	162,333	162,333	0	
収入合計	9,347,963	6,613,031	△2,734,932	

## 支出の部

単位：円

科目	予算	決算	増減	内訳
事務費	90,000	108,837	18,837	
通信費	10,000	23,350	13,350	郵送料、 切手代
振替手数料	25,000	24,124	△876	会費、 寄付金等 振替手数料他
印刷費	10,000	19,440	9,440	領収証印刷費
会議費	5,000	21,180	16,180	会議室使用料
消耗品費	30,000	1,149	△28,851	
雑費	10,000	19,594	9,594	キーボックス、 印鑑ケース他
事業活動経費	250,000	207,792	△42,208	カレンダー仕入、 募金活動諸経費
寄付金支出	2,500,000	3,000,000	500,000	一羊会へ
委託料	1,000,000	1,986,000	986,000	弁護士、 会計事務所 調査費用
小計	3,840,000	5,302,629	1,462,629	
当期収支差額	5,507,963	1,310,402	△4,197,561	
支出合計	9,347,963	6,613,031	△2,734,932	

## 2018年度 予算

自2018年4月1日 至2019年3月31日

## 収入の部

単位：円

科目	前年度決算	本年度予算	増減	内訳
会費寄付金収入	2,296,920	2,200,000	△96,920	
会費	1,005,000	1,000,000	△5,000	
寄付金	1,291,920	1,200,000	△91,920	
事業収入	684,014	700,000	15,986	
募金事業	324,254	350,000	24,746	十日戎街頭 募金収入
販売事業	359,760	350,000	△9,760	カレンダー 販売収入
雑収入	2	2	0	預金利息
使途不明金回収収入	3,469,762	3,015,768	△453,994	使途不明金から 回収額を引いた 残額
前年度繰越金	162,333	1,810,402	1,648,069	
収入合計	6,613,031	7,726,172	1,113,141	

## 支出の部

単位：円

科目	前年度決算	本年度予算	増減	内訳
事務費	108,837	110,000	1,163	
通信費	23,350	25,000	1,650	郵送料、 切手代
振替手数料	24,124	25,000	876	会費、 寄付金等 振替手数料他
印刷費	19,440	20,000	560	振替用紙 印刷代他
会議費	21,180	20,000	△1,180	会議室使用料
消耗品費	1,149	10,000	8,851	
雑費	19,594	10,000	△9,594	
事業活動経費	207,792	250,000	42,208	カレンダー仕入、 募金活動諸経費
寄付金支出	3,000,000	2,500,000	△500,000	一羊会へ寄付 (建設積立金)
委託料	1,986,000	0	△1,986,000	
小計	5,302,629	2,860,000	△2,442,629	
当期収支差額	1,310,402	4,866,172	3,555,770	
支出合計	6,613,031	7,726,172	1,113,141	

## ありがとうございました 寄贈のお礼

### ● 一羊園 ●

西宮建設協会様より、デスクトップパソコンの寄贈を受けました。

大切なケース記録等の書類作成のために活用させていただきます。

ありがとうございました。



### 法人・事業所御寄付の報告（敬称略・順不同）

2018年1月1日～2018年6月30日

#### \*法人

虎の子会 積水ハウス(株)兵庫シャーマゾン支店 2件

#### \*一羊園

高野（2件） 加藤 加藤三郎 一羊園家族会（3件） 7件

#### \*すずかけ作業所

すずかけ作業所保護者会 1件

#### \*すずかけ労働センター

光武真理 本田洋子 南野道明 西宮グリーン(株) あえ 神田三代子 6件

#### \*武庫川すずかけ作業所

平野弘子（2件） 匿名 武庫川すずかけ作業所 保護者会 豆柄和利 5件

#### \*ジョイント

豆柄和利 古川勝（2件） 3件

#### \*上甲子園すずかけ作業所

上甲子園すずかけ作業所保護者会 1件

### 2017年度一羊会後援会会費（敬称略・順不同）

（2018年2月16日～3月31日）

#### \*法人団体の部

上甲子園すずかけ作業所保護者会 阪神園芸(株) 2件

#### \*個人の部

河合万貴子 武井泰道 柴山洋子 水田義一 藪田君子 岡村英幸 西川光子 7件

2018年度一羊会後援会会費（敬称略・順不同）

（2018年4月1日～6月22日）

\*法人団体の部

(株)関西技術コンサルタント (一財)高友福祉積善会 甲南防災設備(株) 西宮市民踊協会 阪神園芸(株) 日高歯科医院
社会保険労務士法人溝口社会保険労務士事務所 (株)前中地所 (株)メックテクニカ すずかけ作業所保護者会
上甲子園すずかけ作業所保護者会 11件

\*個人の部

麻生史子 泉 明子 井上尚子 大前繁雄 大目修平 緒方満智 小川加代子 小椋朝夫 奥田幸子 川上隆弘
片山寛子 近藤真由美 久保恵津子 斎藤正市 佐々木康晴 篠原正寛 鈴木 侑 千翔有峰 善塔勝一郎 高谷知子
高林恵子 土井克己 中島忠男 西中薫子 浜田良子 本田洋子 藤井圭子 前川拓郎 松岡令子 光武真理
宮川 守 森田 順 矢谷吉夫 山岡敬子 山本加津美 吉田幾久世 渡辺洋子 37件

2017年度一羊会後援会御寄付（敬称略・順不同）

（2018年2月16日～3月31日）

\*法人団体の部

関西学院宗教活動委員会 関西学院高等部 関西学院中等部生徒一同 近畿鋼材 4件

\*個人の部

黒木真弓 車田光子 重久 隆 柴山洋子 横山潤・正代 山中登美子 山口静枝 匿名 8件

2018年度一羊会後援会御寄付（敬称略・順不同）

（2018年4月1日～6月22日）

\*法人団体の部

(学)神戸女学院 サンコウ消毒 (一社)西宮市手をつなぐ育成会 阪神園芸(株) (株)ビー・プランニング
社会保険労務士法人溝口社会保険労務士事務所 6件

\*個人の部

大目修平 小川加代子 岡田まり子 小椋朝男 川上隆弘 片山寛子
佐々木康晴 善塔勝一郎 高谷知子 谷矢吉夫 寺尾郁子 中島一敏
中谷美津子 林 泰子 前川拓郎 山岡敬子 山本加津美 吉田幾久世
18件

口座名義 一羊会後援会
【銀行】三井住友銀行 西宮支店 普通 3007061
【郵便振替口座】01190-8-66322

表紙の写真

「ゆらゆらと すずかけ・夏のよりみち展」

2018. 6. 7～6. 19に名古屋の「喫茶モノコト～空き地～」で雑貨展・展覧会を開催しました。会場ではあとりえすずかけ
で作った手描きうちわの展示や、作品の展示、制作風景の上映、すずかけの布巾やあとりえ商品の販売などを行いました。

●編集後記●

この便りが届くころには残暑の時期になっていることでしょう。皆さんこの夏は色々な意味で大変でしたね。もうすぐ
涼しい季節になると思うとホッとしますね。

社会福祉法人制度改革により6月いっぱいまで本部業務が立て込み、本号の発行が例年よりも遅くなりました。楽しみに
していた皆様、申し訳ありません。100号特集もあと1回予定していますので次回号もご期待ください。

尚、今号はページ数が多いため、通常と異なり全体をホッチキス留めして発行しています。